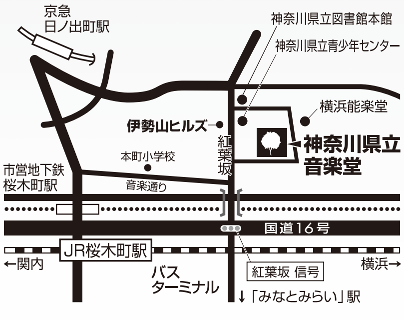
音楽史上もっとも偉大な4大コンチェルト
一度に聴くことで際立つ
それぞれの個性を存分に堪能する

神奈川フィルハーモニー管弦楽団のコンサートマスターを歴任し、拠点とする横浜を中心にソリストとしても楽界を牽引してきた小笠原伸子が、またまたやってくれる。2025年の大好評に応えて、怒涛の4大ヴァイオリン協奏曲の再演が実現だ。どれもクラシック好きなら何度も耳にしたことがあろう超有名曲だが、その煌めく個性の違いは続けて聴いてこそ、より強調されるもの。聴いたものにしか分からない発見、感動があるのがこの企画の醍醐味である。もちろん、この信じられないような企画を前回公演で懲り懲りとならずに再び挑戦する小笠原伸子の底なしのバイタリティ、そして通常公演の2公演分に匹敵する量をこの価格で聴けるお得さも特別だ。
作曲家の、そしてオーケストラ、ソリストのエネルギーを一身に浴びるこのような公演を聴けることこそ、我々の活力の源である。世紀の大熱演に、期待したい。

小笠原伸子 (ヴァイオリン)
東京藝術大学付属高校を経て、同大学、同大学院修了。大学在学中より、数多くのリサイタルを開催する一方、室内楽奏者として演奏会に多数出演。NHKFM出演。イタリアのシエナ、アカデミアキジアーナのマスターコースにて、サルバトーレ・アッカルドに師事、ディプロマ・ディ・メリトを得る。
1979年より87年まで、神奈川フィルハーモニー管弦楽団に在籍し、コンサートマスターを歴任した。1981年横浜弦楽四重奏団を結成、第1ヴァイオリンを務める。1991年に横浜バロック室内合奏団を結成し、コンサートマスター、プロデューサーとして横浜を中心に広く活動。同合奏団では、2006年に第18回「ヨコハマ遊大賞」、2009年に「横浜文化賞文化芸術奨励賞」を受賞した。
2014年～東京室内管弦楽団コンサートマスターとなり、2014年12月にはロシアにてトムスクフィルハーモニックオーケストラ、ノボシビルスク室内管弦楽団と共演した。2015年より協奏曲シリーズを開始、毎年神奈川県立音楽堂にてベートーヴェン、メンデルスゾーン、チャイコフスキーの三大協奏曲を、2025年にはブラームスの協奏曲を加えて4大協奏曲を演奏し好評を博す。2018年には東京文化会館にて東京室内管弦楽団とモーツァルトの協奏曲を共演し好評を博す。2001年～2019年、毎夏イタリアのトスカーナ地方の音楽祭に出演。2004年からは横浜みなとみらいホールにて毎年9月にバッハの無伴奏全6曲リサイタルを開催、2026年9月に第23回目を迎えた。2016年には無伴奏6曲のライブ録音CDをリリースし、またフィレンツエの教会にてバッハの無伴奏曲のリサイタルを行い好評を博す。
生活の中で身近に音楽に親しむ場を広げる事をライフワークとし、横浜バロック関内サロンでのサロンコンサート（2027年1月に1000回目）や、横須賀の自宅でのホームコンサート（2026年現在208回開催）など息の長い活動を通して、音楽の普及に努める。

東京室内管弦楽団
新しい「感動」と出会えるオーケストラ―――
1928年創立。95年に及ぶ伝統と多くの実績をもつ首都・東京の代表的な管弦楽団。1954年より、故いわくぼささを が代表・音楽監督指揮者となり、「求められる演奏活動」を掲げ、クラシックはもとより、独自の編曲による映画音楽、タンゴ・ポップス等を中心とした「ポップスコンサート」など、いち早くとり入れたオーケストラである。1964年より全国の学校を対象に<オーケストラ鑑賞教室>を展開。教育演奏活動」は以来もっとも力を入れている活動のひとつであり、年間およそ50公演ほど行っている。
自主公演(定期公演)は主に、室内管弦楽団の可能性を様々なアプローチで提唱する「Chamber Music Style」(東京文化会館小ホール・年3公演)、平日の午後、14:30開演「平日マチネ」(サントリーホール ブルーローズ・年2公演)、オーケストラによるコンサートを身近に楽しみ、オーケストラの持つ可能性を追求するとともに、個性豊かで魅力溢れる音楽家、ソリスト（共演者）のパフォーマンスに特化した「Luxury Classics」(横浜みなとみらいホール 小ホール)をはじめ、0歳から入場可能なコンサート「ぼくとわたしのコンサートデビュー」など、年間7公演~10公演行っており、その温かく伝統に彩られた格調のある音色はジャンルを問わず、様々な方面から高い評価を得ている。

横浜バロック室内合奏団
1991年ヴァイオリニスト小笠原伸子（元神奈川フィルコンサートマスター）を中心に横浜で活躍する弦楽器奏者たちによって結成され、今年創立5周年を迎える、横浜の由緒ある合奏団。横浜みなとみらいホールでの年4回の定期演奏会をはじめ、小さなサロンでの身近なコンサートを年70回以上開く。地域の文化に貢献した活動が認められ、2006年には「ヨコハマ遊大賞」を、2009年には「横浜文化賞文化・芸術奨励賞を受賞2007年よりFMブルー湘南の音楽番組制作に協力し、団員のトークを交えたライヴ録音が放送されている。今までにCD10枚をリリース。横浜みなとみらいホールでの定期演奏会では、ヴィヴァルディ、バッハを中心としたバロック音楽を主軸に、数々の名品を演奏する。ホームグランドの横浜バロック関内サロンでは毎週水曜日のサロンコンサートをはじめとして数々のコンサートを開催し、2027年1月には1000回目を迎え、身近にいつも音楽がある幸せで豊かな日常を、お客様と共に共有している。



木のホール
神奈川県立音楽堂
〒220-0044
横浜市西区紅葉ヶ丘9-2
Tel.045-263-2567
https://www.kanagawa-ongakudo.com/

- JR・市営地下鉄「桜木町」駅から徒歩10分
- 京浜急行「日ノ出町」駅から徒歩13分
- みなとみらい線「みなとみらい」駅から徒歩20分